



LEADING-EDGE NANOTECHNOLOGY

ナノキャリア株式会社

東証マザーズ 4571

会社説明会

2014年6月25日(水)

事業報告 2012年からの主なIR軌跡



ウィズパートナーズ
総額37億円の投資
自社開発への戦略転換

アルビオン(化粧品)
共同研究契約
キャッシュフローの顕在化

2012年

エーザイと共同研究契約
医薬品ライフサイクルマネジメント

OEP社とMOU締結
製造基盤構築

信越化学工業に
第三者割当増資
世界的メーカーによる
基盤技術への期待

91億円の資金調達
JPモルガン主幹事
日本バイオベンチャー初の
グローバルオフアリング

エーザイと
ライセンス契約
医薬品ライフサイクル
マネジメント
(リプロファイル)

2014年

事業報告 2012年からの開発進捗



<2012年3月末>

品目	対象疾患	臨床試験			
		地域	Ph1	Ph2	Ph3
NC-6004	膵がん	アジア	→		
NC-4016	固形がん	欧州	→		
NK105	胃がん (日本化薬)	日本	→		

<2014年6月>

品目	対象疾患	臨床試験			
		地域	Ph1	Ph2	Ph3
NC-6004	膵がん	アジア	→		
	肺がん	米国	→		
	固形がん	日本	→		
NC-4016	固形がん	米国	→		
NC-6300	固形がん (興和)	日本	→		
NK105	乳がん (日本化薬)	日本 アジア	→		

- ◆パイプライン数が増加
- ◆試験実施地域を拡大
- ◆ステージアップが実現
- ◆製薬企業との共同開発・
ライセンス契約を実現
- ◆資金調達で財務基盤強化

	2011年度	2012年度	2013年度
現金預金及びMMF (百万円)	3,481	5,155	13,747

企業価値向上に向けた取り組み

1. 自社開発品のグローバル開発推進による
製品価値の向上
2. ADCM、核酸ミセル(NanoFect[®])の研究開発推進
新規開発パイプラインの拡充
アライアンスパートナーの確保
3. 新たな化粧品分野での事業化推進

取締役CFO 兼 社長室長
中塚 琢磨



2015年3月期 計画



(単位:百万円)	売上高	売上原価及び 販売費及び 一般管理費	営業損失	当期純損失	(研究開発費)
2014年3月期 (実績)	472	1,595	(1,123)	(1,113)	926
2015年3月期 (計画)	330	2,285	(1,955)	(1,970)	1,599

2015年3月期 計画

売上高

- アルビオン社向け化粧品原材料 (ナノセスタ) の供給
- OEP(台湾) 及び興和に対する治験薬の供給 (治験進捗)

原価及び 販管費

- 研究開発費の増加 (926百万円→1,599百万円)
- 主要パイプラインの自社・共同開発の推進 (日、米、アジア)
- ADCM、核酸ミセルなど新規パイプライン開発 (エーザイ)
- 人材確保と新研究開発拠点への移転

損益

- 当期純損失: 19億7千万円

事業開発

- 内外の製薬・バイオ企業、大学・研究機関とのアライアンス
- 新たな化粧品分野での事業化 (アルビオン社)

拠点統合⇒社員一丸となった研究開発



秋葉原駅より30分

つくばエクスプレス 「柏の葉キャンパス駅」
徒歩5分

「新産業創造都市」
KASHIWA-NO-HA SMART CITY



all new NanoCarrier®
今、新たなステージへ



2014年6月16日(月)より新拠点で活動開始

取締役COO 兼 事業開発部長
花田 博幸



パイプライン開発の進捗状況とスケジュール



品目	対象疾患	ステージ	地域		状況	上市目標
NC-6004 共同開発 (OEP) Orient Europharma	膵がん	PⅢ	アジア	台湾	患者投与中 (2014.2~)	2018年度 予定
				シンガポール	患者登録中	
				香港	患者登録中	
				韓国	I N D申請中	
				中国	I N D準備中	
自社開発	肺がん	PIb/Ⅱ	米国		患者投与中 (2014.5~)	2020年度 予定
	固形がん	PI	日本		患者投与中 (2012.10~)	2020年度 予定
NC-4016 自社開発	固形がん	PI	米国		患者投与中 (2013.12~)	2024年度 予定

色:

共同開発	自社開発	ライセンスアウト
------	------	----------

パイプライン開発の進捗状況とスケジュール

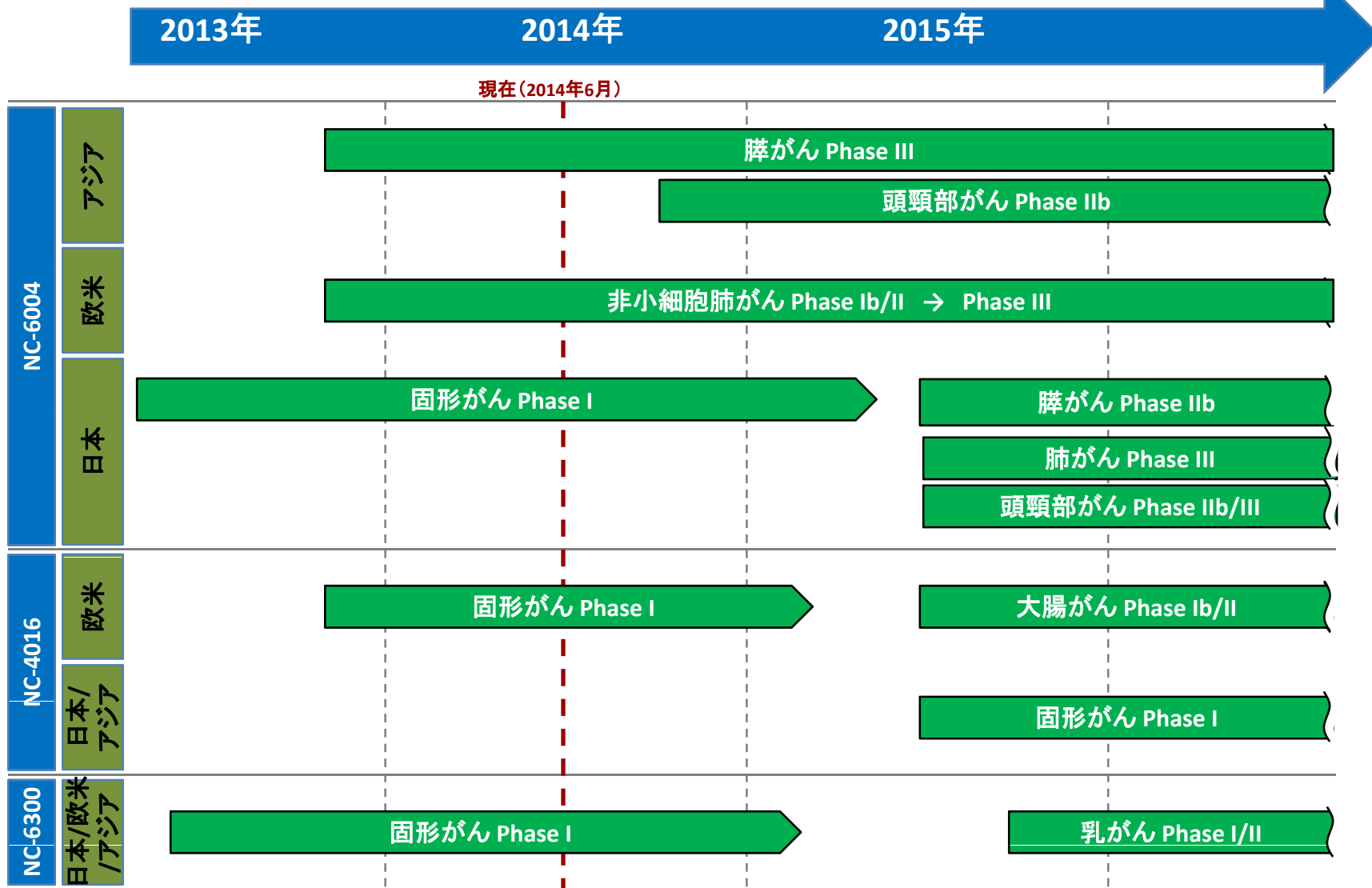


品目	対象疾患	ステージ	地域	状況	上市目標
NC-6300 /K-912 共同開発 興和	固形がん	PI	日本	患者投与中 (2013.9~)	2024年度 予定
NK105 導出 日本化薬	乳がん	PⅢ	日本・アジア	臨床試験 (2012.7~)	PⅢ進捗中

色:

共同開発	自社開発	ライセンスアウト
------	------	----------

主要パイプライン: 今後の臨床試験計画



注: 本頁は現時点の計画であり、開始・終了時期、臨床試験期間等は変更となる可能性があります

取締役CSO
加藤 泰己

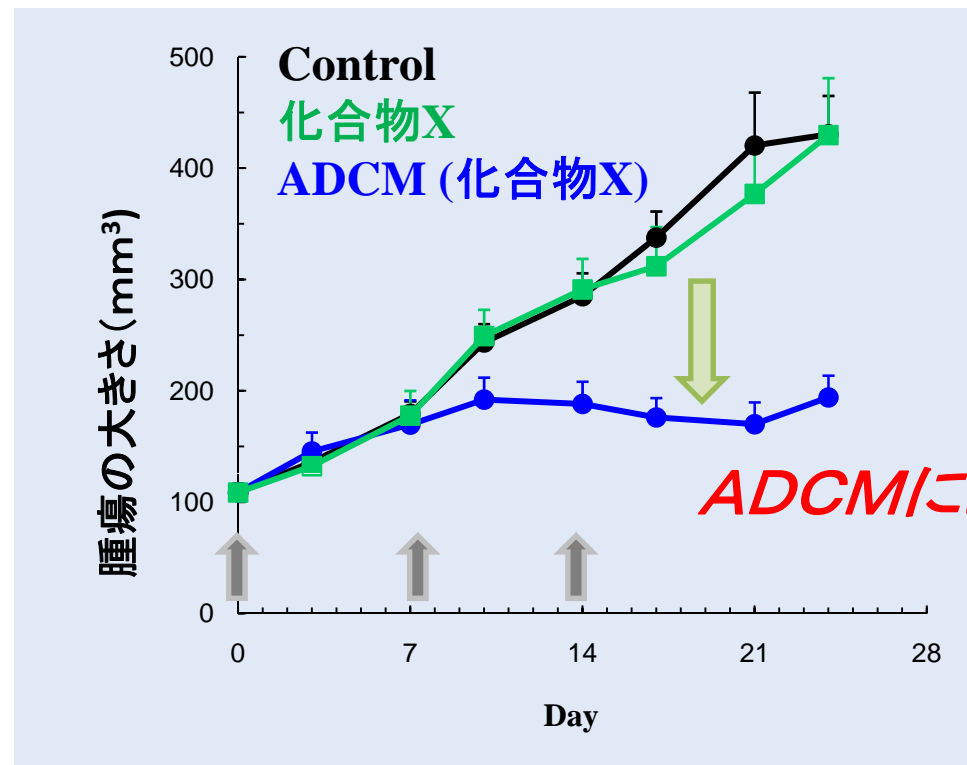


革新的ナノDDSシステムによる治療例



Antibody/Drug-conjugated Micelles (ADCM) アクティブターゲティングシステム

多くの薬物を標的部位に効率よくターゲティング

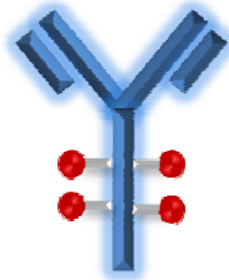


抗体医薬品の今後の動向



ADC

(Antibody Drug Conjugate)



世界での上市状況

ブレンツキシマブ ベドチン (アドセトリス)

・シアトルジェネンテック, 武田薬品

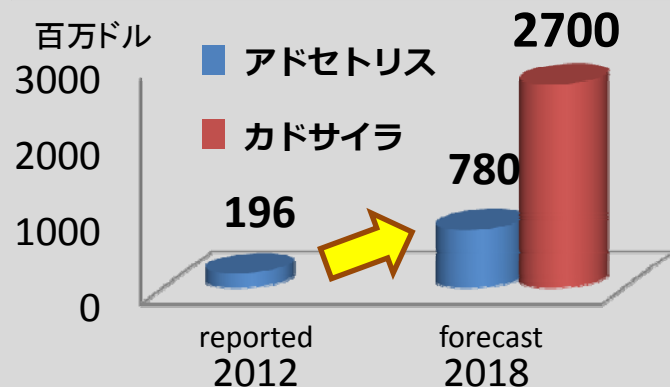
トラスツズマブエムタンシン(カドサイラ)

・ジェネンテック, ロッシュ, 中外製薬

ゲムツズマブ(マイロターゲット)

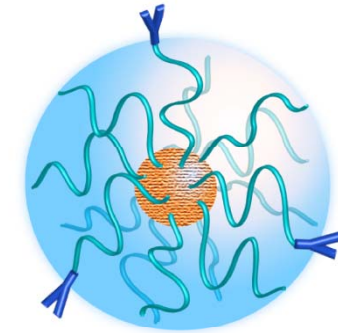
・ファイザー

急速な市場規模拡大が予測されている



ADCM

(Antibody/Drug Conjugated Micelle)

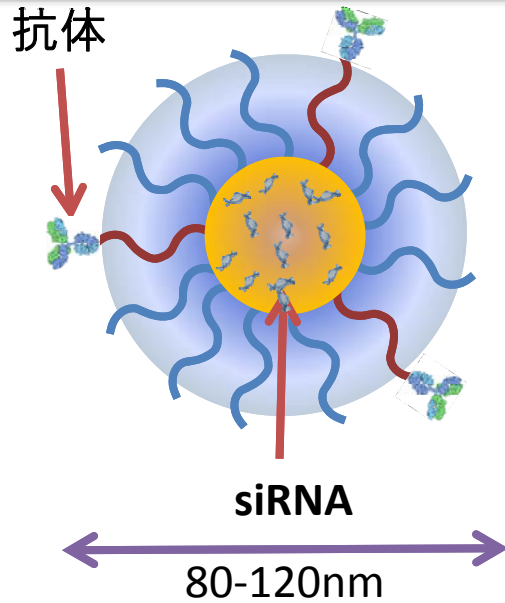


- ◆ 製剤化が比較的容易(特許取得済)
- ◆ 1粒子内の薬物量が多い **約100倍**
- ◆ センサー量は少量で有効である
- ◆ 薬物/抗体の組合せが無限に可能

治療域の拡大

ADC の効率を
ミセル化によりさらに向上可能

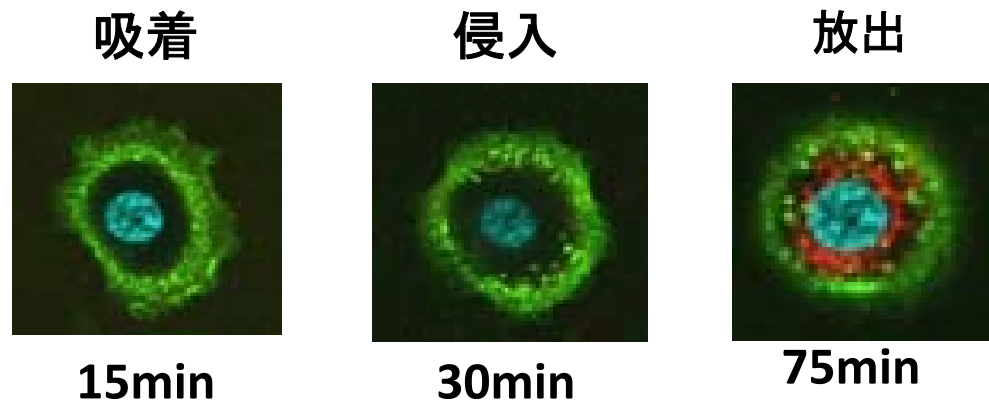
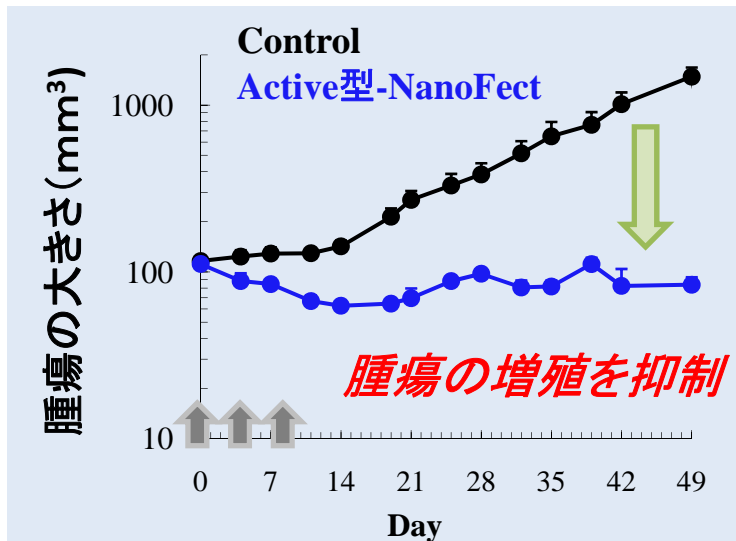
Active型-NanoFect®



ADCM
結合・侵入・機能的放出制御

低分子から高分子まで幅広く適応可能

- 標的細胞へ届ける
- 標的細胞へ結合し、細胞内へ侵入
- 薬物を大量に放出

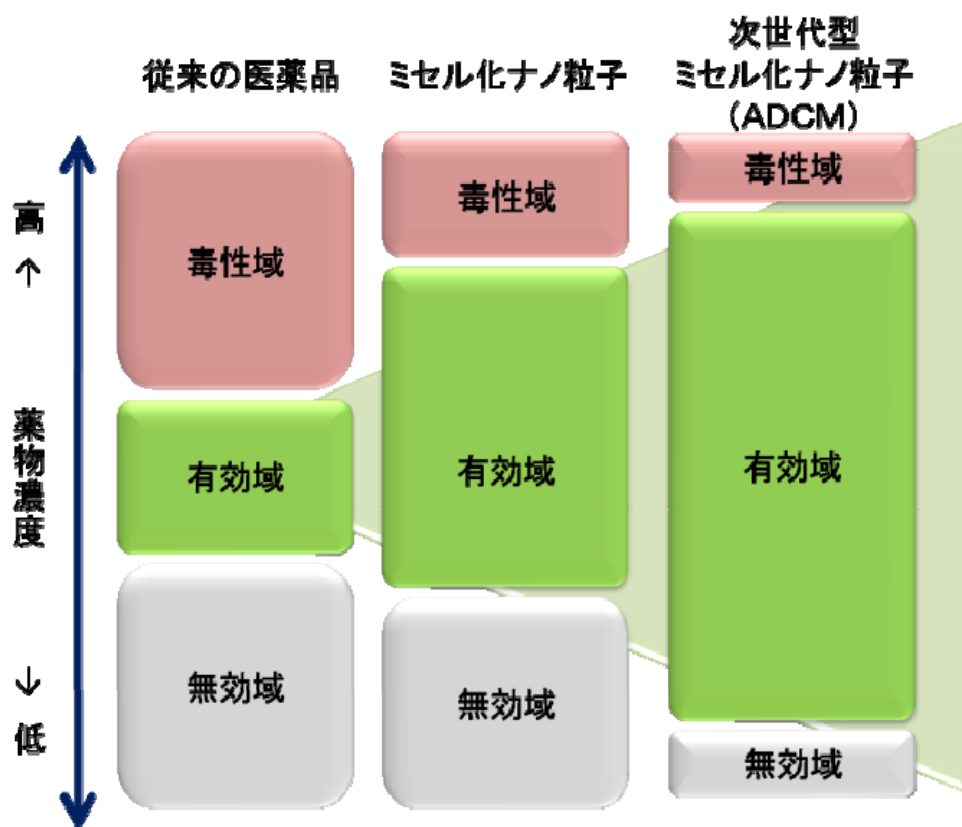


エーザイとの共同研究成果



2014年6月23日

エーザイ株式会社との新規医薬品候補（E7974）に関する独占的ライセンス契約（グローバル）締結



開発中断した化合物を含む
医薬品候補



ADCMを利用した
ライフサイクルマネジメント
を推進

ありがとうございました



本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している予想とは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

お問い合わせ

ナノキャリア株式会社 社長室

TEL: 04-7197-7622 E-mail: info@nanocarrier.co.jp